

仕様書

1 件名

練習会場における防球ネット設置業務委託

2 目的

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「委託者」とする。）において、ハンドボール競技は品川区総合体育館を練習会場として使用する予定である。

本件は、東京オリンピック競技大会において、練習会場である品川区総合体育館に防球ネットの設置及び撤去に係る業務委託を実施する。

3 契約期間

契約確定日の翌日から 2021 年 8 月 31 日（火）まで

4 業務内容

(1) 場所

品川区総合体育館（東京都品川区東五反田 2 丁目 11-2）

(2) 作業日

①設置作業：2021 年 7 月第 1～2 週頃

②撤去作業：2021 年 8 月第 2～3 週頃

※委託者が指定する日程において作業に必要な時間とする。詳細は確定次第、通知する。

(3) 作業内容

ハンドボールゴールの後方に指定する防球ネットを設置すること。また、大会終了後は適切に取り外し及び片付けを行い、体育館内に取り付けた設備や部品等を回収し、原状回復する作業撤去を行うこと。

① 数量

ハンドボールゴール 1 コート分（防球ネット 2 枚）

② 防球ネットのサイズ：高さ 6m×幅 22m、10kg 程度

防球ネットは委託者から、受託者へ提供する。

③ 設置場所

ハンドボールのゴールラインから 2m 程度後方に設置すること。設置場所は必ず委託者に確認をとること。

④ 設置方法

練習期間中にネットが外れたり、変形したりすることが無いような設置方法にて設置を行うこと。

※別紙「防球ネット取付イメージ図」参照

5 作業における注意点

(1) 事前準備

事前に設置場所及び設置方法は、委託者に確認をとること。

現地にて調査等を行う際は、委託者の確認を取ること。

(2) 開始の確認等

作業開始の際に委託者へ確認を取ること。

(3) 途中経過

作業途中で委託者へ設置場所や耐久等の確認を行うこと。不測の事態等が発覚した場合は、すぐに委託者へ報告すること。

(4) 終了報告等

作業終了した際に委託者へ報告を行い、設置確認を実施すること。なお、防球ネット撤去後は、ネットを適切に折り畳んだ状態で委託者へ返却すること。

(5) 維持管理について

使用期間中にネットの外れ等が発生した場合には、その補修等により速やかに復旧すること。

6 支払方法

防球ネット撤去の作業後、受託者からの適正な請求書の提出に基づき、請求書受領後 30 日以内に支払うものとする。

7 本契約に含まれる費用

- (1) 本契約の履行、本仕様書に記載されている各事項の履行及びその他本契約の履行に際し、受託者従業員に関して生じる全ての費用については、委託者・受託者間で別段の合意がない限り、すべて受託者の負担とする。
- (2) 施工方法のテスト等が必要な場合は、受託者の負担にて実施すること。
- (3) 施工方法のテストの結果、当初していた施工方法にて設置ができないことが判明した場合、新たな施工方法にてネットを敷設すること。新たな施工方法にて生じる費用は受託者負担とすること。

8 秘密の保持

- (1) 本契約を行うにあたって知り得た一切の秘密情報については、本契約の目的外に使用せず、また委託者の書面による事前の許可なく、第三者へ提供又は漏えいしてはならない。
- (2) 本契約を行うにあたって委託者から提供を受けた資料については、委託者による事前の許可なく複製又は複写してはならない。
- (3) 本契約が終了した場合又は委託者から要求があった場合、委託者から提供を受けた資料並びにそれらの複写物及び複製物を、委託者の指示に従い返却又は破棄（電子データの場合は電子メールサーバ等に一定期間バックアップされるものを除き消去）しなければならない。
- (4) 委託者による事前の承諾なく、本契約上の地位又は本契約により生ずる権利若しくは義務を第三者に譲渡し、担保に供し、その他の処分をしないこと。

9 個人情報の保護

委託者が提供する資料に記載された個人情報及び本契約に関して知り得た個人情報の取扱いについては、当該個人情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。委託者の許可なく複写、複製又は第三者へ提供してはならない。契約期間満了後は、委託者の保有個人情報に記載された資料（電子媒体に記録されたものを含む。）を委託者に返却するものとする。

10 持続可能性の確保

- (1) 委託者及び受託者は、法令の遵守、環境・人権・労働・公正な事業慣行等への配慮など幅広い持続可能性の確保に向けた取組みを推進し、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を持続可能な大会とするとともに、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するよう働きかけていくものとする。
- (2) 受託者は、本契約の履行にあたり、委託者が別途定める「持続可能性に配慮した調達コード」（委託者が指定する時点において有効なものとする。以下「調達コード」という。）の内容の理解に努め、これを遵守しなければならない。
- (3) 受託者は、委託者の求めがある場合、自社における調達コードに関する遵守状況について報告しなければならない。なお、更なる確認が必要な場合には、委託者は受託者に対して、委託者又はその指定する第三者による監査を行うことができるものとする。ただし、受託者から監査に応じられない正当な理由が示される場合にはこの限りではない。
- (4) 受託者は、自社における調達コードの不遵守があるとして委託者から改善を求められた場合、その事項について改善に取り組み、その結果を委託者に報告しなければならない。

11 アンブッシュマーケティングの禁止及びスポンサー供給権の保護

- (1) 受託者は、委託者より別途認められた場合を除き、受託者自身又は受託者の商品若しくはサービス（以下、総称して「受託者商品等」という。）と、本大会、オリンピックムーブメント又はパラリンピックムーブメントとを関連付けてはならず、かつ、そのように受け取られるおそれのある行為をしてはならない。
- (2) 受託者は、委託者より別途認められた場合を除き、受託者商品等が、委託者、国際オリンピック委員会（以下、「IOC」という。）、国際パラリンピック委員会、日本オリンピック委員会又は日本パラリンピック委員会（以下、総称して「委託者等」という。）のいずれかによる公式のものである旨、委託者等のいずれかにより選ばれたものである旨、委託者等のいずれかにより承認されたものである旨、委託者等のいずれかによる保証を受けたものである旨、委託者等のいずれかにより推奨されている旨、委託者等のいずれかによる同意を得たものである旨、その他これらに類する事実を表明してはならず、かつ、そのように受け取られるおそれがある行為をしてはならない。
- (3) 受託者は、委託者等との関係又は本契約の内容及び本契約の締結の事実について、受託者自身又は受託者商品等の広告・宣伝の目的を持って公表してはならず、かつ、そのように受け取られるおそれのある行為をしてはならない。
- (4) 受託者は、本契約を遂行するに当たり、本大会のマーケティングパートナーの製品カテゴリーに含まれる製品又はサービスを必要とする場合には、法令で認められる限り、当該製品又はサービスの供給を受けなければならない。ただし、受託者は、マーケティングパートナーの製品又はサービスが本

契約の仕様に照らし適切でないと考える場合には、事前に委託者の書面による承諾を得た上で、マーケティングパートナー以外の第三者の製品又はサービスの供給を受けることができる。

- (5) 上記(4)の規定により、マーケティングパートナー以外の第三者（以下「非スポンサー」という。）の製品又はサービスの供給を受ける場合には、受託者は、法的に可能な限り、マスキングその他の方法により、当該非スポンサーの製品又はサービスのブランドが分からない形で供給を受けなければならない。かつ、当該非スポンサーとの契約において、上記(1)から上記(3)までに定める行為を禁止しなければならない。

※アンブッシュマーケティングとは、故意であるか否かを問わず、本大会のマーケティングパートナー以外の組織又は個人が、無断でオリンピック・パラリンピック競技大会の知的財産権（オリンピック・パラリンピックのシンボル、大会エンブレム、マスコット、ピクトグラム、大会名称、各オリンピック大会の静止画、動画、音声、楽曲、メダル、聖火リレープログラム等）を使用し、又はオリンピック・パラリンピック競技大会の知的財産との関連性を生み出すための手段を用いることをいう。

12 信用失墜行為の禁止

受託者は、委託者の信用を傷つけ、又は職務全体の不名誉となるような行為（守秘義務違反、観客への配慮の欠如等）がないよう従業員への指導教育及び管理について責任をもって行わなければならない。また、受託者は、従業員に対して、観客やアスリートをはじめとする大会関係者に不快感を与えるような態度や服装、言葉遣いを行わせないように、十分に注意しなければならない。

13 留意事項

- (1) 委託者が受託者に貸与する資料において、IOC 及び IHF が一般公表せずに開催都市のみに提供する資料については、取り扱う者を限定すること。
- (2) 受託者は、契約締結後速やかに委託者と打合せを行うこと。また、これまでの防球ネット設置及び撤去に係る経験を活かし、委託者へ必要な情報の提供や提案を行うこと。
- (3) 受託者は、業務を開始するにあたっては、事前に委託者の許可を得ること。また、委託者から業務の進捗状況等について説明・報告を求められたときは、速やかに対応すること。
- (4) 本仕様について、不明な点、あらかじめ記されていない事項又は諸般の事情により変更が生じた事項については、基本的にはその都度、委託者との協議により決定するものとする。ただし、内容の一部について不要であることが判明した場合には、委託者の通告により、不要となった部分について契約を解除することが出来る。
- (5) 受託者の責任範囲は、防球ネット設置及び撤去における一連の作業に対するものとする。